

平成 21 年度 大和市自立支援協議会 精神部会報告

大和市自立支援協議会 精神部会

出席者（敬称略）：大和病院（江口）、森の家（鶴田）、大和保健福祉事務所（土屋）、コンパス（風間）、あゆみの家（丸山）、フレッシュグリーンボイス（八賀）、あるむ（藤田）、リバーシティ大和（曲本）、自立支援センター（星野・三瓶）、障がい福祉課（佐川・津田）、サポートセンター花音（村尾・五十嵐）

1. はじめに

- ・ 昨年度に引き続き、支援事例を通して日中活動の場（憩いの場）や「居場所」等の社会資源について検討を行ってきたが、日中活動の場を必要としている方々に対する資源の不足があると同時に、施設等に通えない人やそこまで繋がらない人の為には、既存の施設やフリースペース等とは違う、新しい形の社会資源や支援が必要である事を確認し、今一度立ち戻って、様々な方々におけるニーズや「求めているもの」について整理し、具体的に検討し直す事となった。

2. 活動内容

①日中活動の場等についての検討

事例検討を通し、日中通う場所に対するニーズや資源の不足はあるものの、居住地にある活動場所を敬遠したり、作業所に登録しても実際には通っていない方もいる中で、既存の日中活動場所を増やすという事だけでは問題の解決にならないという課題が上がった。また、グループホーム入居者の日中の生活訓練施設の不足や、家族や当時者の高齢化、成年後見制度に対する相談の増加等の課題を確認した。また、施設支援以外の具体的な社会資源として、「ぐるーぶ窓」の担当者を招いて情報の共有を行い、具体的に NPO の取り組みやインフォーマルな資源等の取り組み、また、それらの活動の現状や課題等について勉強会を行った。

②相談支援事業所の事例検討を通して

相談支援事業所の事例検討の中で、更にどの様な形の社会資源や支援が必要であるのか、課題等は何かという事について意見交換を重ねた。事例検討の過程の中で、いくつかのフリースペースについての情報共有を行い、また、デイケアや作業所等へ通えない方への医療的な支援としての訪問看護の重要性、居場所として束縛されず縛りのない場所の必要性等を確認した。また、作業所においても柔軟な活動や対応の重要性について確認する中で、市内の作業所の今後のあり方について検討する事となった。

③市内の作業所の今後のあり方等についての意見交換

市内の作業所の現状について市の担当者を招き、作業所の現状と今後について意見交換を行った。新法移行に伴い、利用費の負担の問題や、現在通所している方のニーズを作業所の役割としてどれだけ確保していけるかという課題、運営の不安定さに関する課題等が浮かび上がった。また、新法移行に際しては、まずは今通われている利用者が安心して今後も引き続き利用できる環境を整える事が第一である事を確認した上で、作業所として今後はどのようなサービスを提供していくのかを明確に検討し、それらを利用者に繰り返し説明していく事が必要であるという事、また今後は更にそれぞれの施設が特徴を出していく事が重要である

事等を確認した。その他、自立支援センターにおける鬱の方の当事者活動についての情報共有を行い、当事者活動等の重要性や活動を行う上での課題等について意見交換を行った。

④精神病院の事例検討を通しての勉強会とモデルケースの取り組み

大和病院からの地域移行の困難事例の事例検討を通して、日中活動の場（憩いの場）や「居場所」等の社会資源やその他必要な資源や支援について検討を行うと共に、地域移行する際に必要な具体的な支援やネットワーク、あるいは、課題等の整理や意見交換を重ねた。その後、実際に地域移行を検討しているある入院中の方のケースについての事例検討を行いながら、部会のメンバーの中で役割分担を行い、連携を図りながら、地域移行支援のモデルケースとして、あるケースについて実際に地域移行支援に取り組んだ。その取り組みの中で、良いタイミング計りながら支援を行う事の重要性や、移行の過程で課題を素早く抽出しそのフォローをチームで継続的に行う事、医療に戻る手段を確保しながら各関係機関が意思疎通をしながら連携して継続的に関わる事、医療と福祉の連携といった事の重要性等を学んだ。

3、まとめ

- ・今年度前半では、事例検討の中で、どのような形の社会資源や支援が必要なのかという事についての意見交換や、当事者活動やインフォーマルな活動を含め、様々な活動についての情報共有や、市内の作業所の今後のあり方についての検討を行った。
- ・後半は、精神病院の地域移行の事例を元に地域移行支援に取り組む際に必要な支援や取り組みに関する勉強会を重ねた。その後、実際に地域移行を検討しているある入院中の方のケースについての事例検討を行いながら、部会のメンバーの中で役割分担を行い、地域移行支援のモデルケースとして、連携を図りながら実際に地域移行支援に取り組んだ。

4、課題

- ・精神病院の地域移行支援の実際のモデルケースへの取り組みの中で、地域移行支援に取り組む際の課題や、チームとしての取り組みの重要性、医療と福祉の連携の重要性等を確認したが、それらの課題や重要性を把握した上で、いかに各関係機関がネットワークを活用し、継続して支援していく事が出来るかという事が今後の課題となった。来年度も事例検討や様々な情報共有等を通して、それらの課題について引き続き部会として具体的に取り組んでいきたい。